

注3

大学番号：国005

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の共同教育課程の設置

注1

共同設置

北海道大学 獣医学部 共同獣医学課程
帯広畜産大学 畜産学部 共同獣医学課程

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 北海道大学
国立大学法人 帯広畜産大学

平成26年5月1日現在

北海道大学：作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部企画課組織整備担当

職名・氏名 係長・小守林 訓ノリマツ

電話番号 011-706-2842

（夜間） 011-706-2842

F A X 011-706-2193

e-mail skaikaku@general.hokudai.ac.jp

帯広畜産大学：作成担当者

担当部局（課）名 企画・国際室企画係

職名・氏名 係員・伴 きよみバン

電話番号 0155-49-5302

（夜間） 0155-49-5302

F A X 0155-49-5229

e-mail kikakuka@obihiro.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は、設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	・・・	3
2	授業科目の概要	・・・・・・・・	7
3	施設・設備の整備状況, 経費	・・	18
4	既設大学等の状況	・・・・・・・・	20
5	教員組織の状況	・・・・・・・・	24
6	留意事項に対する履行状況等	・・	27
7	その他全般的事項	・・・・・・・・	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者, 大学名

国立大学法人 北海道大学

国立大学法人 帯広畜産大学

(2) 大学の位置

(北海道大学)

〒060-0818 : 北海道札幌市北区北18条西9丁目

(〒060-0808 : 北海道札幌市北区北8条西5丁目)

(帯広畜産大学)

〒080-8555 : 北海道帯広市稲田町西2線11番地

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
北海道大学	理事長 (該当しない場合は不要)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
	学長			
	学部長			
	学科長等			
帯広畜産大学	理事長 (該当しない場合は不要)			
	学長			
	学部長			
	学科長等			

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが、開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合
 には、欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
北海道大学獣医学部 共同獣医学課程 学士(獣医学)	6年	40人	年次 人	240人	
帯広畜産大学畜産学部 共同獣医学課程 学士(獣医学)	6年	40人	人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学 定員 超過率	備 考	
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
北海道大学	A入学定員	35人 () []	—人 () []	35人 () []	—人 () []	35人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	1.04倍	※北海道大学では学部1年次 学生は全て総合教育部に所属 するので正確には入学人数は 0名である。 獣医学部の定員は40名である が、総合教育部入学者で獣医 学部進学予定の入試枠は35 名。残りの5名は2年次進級時 に決定する。 入学定員超過率については受 験時の獣医学部進学予定者枠 35名と実際の入学者を基に算 出。	
	志願者数	() [0]	() [—]	() [0]	() [—]	() [0]	() [—]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			() []
	受験者数	() [0]	() [—]	() [0]	() [—]	() [0]	() [—]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			() []
	合格者数	() [0]	() [—]	() [0]	() [—]	() [0]	() [—]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			() []
	B入学者数	() [0]	() [—]	() [0]	() [—]	() [0]	() [—]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			() []
	入学定員超過率 B/A	1.05		1.05		1.02										
帯広畜産 大学	A入学定員	40人 () []	—人 () []	40人 () []	—人 () []	40人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	1.02倍		
	志願者数	(22) [6] 272	() [—] —	(18) [7] 302	() [—] —	(18) [3] 238	() [—] —	() []	() []	() []	() []	() []	() []			() []
	受験者数	(18) [6] 224	() [—] —	(15) [6] 244	() [—] —	(18) [3] 206	() [—] —	() []	() []	() []	() []	() []	() []			() []
	合格者数	(0) [0] 42	() [—] —	(1) [0] 43	() [—] —	(1) [0] 42	() [—] —	() []	() []	() []	() []	() []	() []			() []
	B入学者数	(0) [0] 40	() [—] —	(1) [0] 41	() [—] —	(1) [0] 42	() [—] —	() []	() []	() []	() []	() []	() []			() []
	入学定員超過率 B/A	1		1.02		1.05										

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行って
 いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
 「—」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入して

ください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
北海道大学	1年次	[0] 37	[]	[0] 37	[]	[0] 36	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	※北海道大学では学部1年次学生は全て総合教育部に所属するので正確には1年次の在学者数は0名である。 1年次在籍者数は、獣医学部進学予定者総合教育部在籍者数である。
	2年次	[]	[]	[0] 41	[]	[0] 43	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	3年次	/		[]	[]	[0] 41	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	4年次	/		/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	計	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
帯広畜産大学	1年次	[-] 40	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 42	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	2年次	/		[-] 39	[-] -	[-] 44	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	3年次	/		/		[-] 39	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	4年次	/		/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	計	[-] 40	[-] -	[-] 82	[-] -	[-] 125	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留学生数**を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
北海道 大学	平成24年度 入学者	37人	0人	平成24年度	人	人		0%
				平成25年度	人	人		
				平成26年度	人	人		
	平成25年度 入学者	37人	0人	平成25年度	人	人		0%
				平成26年度	人	人		
	平成26年度 入学者	36人	0人	平成26年度	人	人		0%
	合 計	110人	0人					0%
帯広畜 産 大学	平成24年度 入学者	40人	0人	平成24年度	人	人		0%
				平成25年度	人	人		
				平成26年度	人	人		
	平成25年度 入学者	42人	0人	平成25年度	人	人		0%
				平成26年度	人	人		
	平成26年度 入学者	43人	0人	平成26年度	人	人		0%
	合 計	125人	0人					0%

- (注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<獣医学部共同獣医学課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	構成 大学	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般 教養 科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	1前後	北海道大学		[2]							兼 130 45	
	環境と人間	1-2-3-4前後	北海道大学		[1]							兼 37 35 9	
	健康と社会	1-2-3-4前後	北海道大学		[1]							兼 14 12 8	
	人間と文化	1-2-3-4前後	北海道大学		[1]							兼 12 3	
	特別講義	1-2-3-4前後	北海道大学		[1]							兼 1	
	学問の世界	1-2-3-4前後	北海道大学		[1]							兼 1 3	
	思索と言語	1-2-3-4前後	北海道大学		[2]							兼 24 23 5	
	歴史の視座	1-2-3-4前後	北海道大学		[2]							兼 21 12	
	芸術と文学	1-2-3-4前後	北海道大学		[2]							兼 15 9	
	社会の認識	1-2-3-4前後	北海道大学		[2]							兼 45 45	
	科学・技術の世界	1-2-3-4前後	北海道大学		[2]							兼 22 9	
	基礎学術ゼミナール	1前	帯広畜産大学		1		1						
	生命と倫理	4前	帯広畜産大学		4							兼 6	教育内容見直しのため、科目を 廃止(26)
	農畜産科学概論Ⅰ	1前	帯広畜産大学		1							兼 6	教育内容の充実を図るため、科 目を追加(26)
	文学	1前	帯広畜産大学		2							兼 1	
	哲学	1後	帯広畜産大学		2							兼 1	
	心理学	2前	帯広畜産大学		2							兼 1	
	心理学実験	1後	北海道大学		2							兼 4 1	
	人文・社会科学の基礎	1前後	北海道大学		2							兼 18	記載漏れのため追加(26)
	法学(日本国憲法)	1後	帯広畜産大学		2							兼 1	
	市民生活と法	2後	帯広畜産大学		2							兼 1	
	社会学	1後	帯広畜産大学		2							兼 1	
	近現代史	2前	帯広畜産大学		2							兼 1	
	比較美術史	2前	帯広畜産大学		2							兼 1	
	社会思想	1前 2前	帯広畜産大学		2							兼 1	教育内容に鑑み、適切な開講時 期へ調整した。(24)
	社会倫理学	2後	帯広畜産大学		2							兼 1	
	国際関係論	1後 2後	帯広畜産大学		2							兼 1	教育内容に鑑み、適切な開講時 期へ調整した。(24)
	健康・スポーツコンディショニング	3前	帯広畜産大学		2							兼 2	
	表象文化論	4前	帯広畜産大学		2							兼 1	
	日本語表現論	1後	帯広畜産大学		2							兼 1	
	教育原理	2前	帯広畜産大学		2							兼 1	
	教育心理学Ⅰ	1前 2前	帯広畜産大学		2							兼 1	教育内容に鑑み、適切な開講時 期へ調整した。(24)
	基礎キャリア教育	2後	帯広畜産大学		4							兼 2	教育内容見直しのため、科目を 廃止(26)
	日本と世界の食文化	1前	帯広畜産大学		2							兼 1	教育内容の充実を図るため、科 目を追加(26)
	風土と酪農・農業	2後	帯広畜産大学		2							兼 1	教育内容の充実を図るため、科 目を追加(26)
	共通教育総合Ⅰ	1-2-3-4通	帯広畜産大学		2		1					兼 16	
	共通教育総合Ⅱ	1-2-3-4通	帯広畜産大学		2			1				兼 3	
	経済学概論	1後	帯広畜産大学		2							兼 2	
	基礎経済学	2前	帯広畜産大学		2							兼 1	
	基礎経営学	2後	帯広畜産大学		2							兼 1	
家畜家禽論	1前	帯広畜産大学		2							兼 4		

	生命と環境	4後	帯広畜産大学	2				兼 8	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
	食品科学概論	4後	帯広畜産大学	2				兼 12	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
	農業と経済	1前	帯広畜産大学	2				兼 7	
	土壌栽培学基礎	1後	帯広畜産大学	2				兼 3	
	農業とテクノロジー	1後	帯広畜産大学	2				兼 9	
	生物と福祉 動物と人間の関係	2前	帯広畜産大学	2	1		1	兼 4	教育内容に鑑み、より適切な名称に変更した。(26)
	生態学	2前	帯広畜産大学	2				兼 3	
	遺伝学	2前	帯広畜産大学	2				兼 2	
	細胞生物学	2後	帯広畜産大学	2				兼 3	
	自然科学実験	1前後	北海道大学					兼 112 33	
	数学概論	2・3・4前後	北海道大学					兼 4 1	
	数学概論	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	
	入門線形代数学	1前	北海道大学	2				兼 3 2	
	線形代数学 I	1前	北海道大学	2				兼 15 8	
	線形代数学 II	1後	北海道大学	2				兼 14 13 6	
	入門微積分学	1前	北海道大学	2				兼 3 2	
	微積分学 I	1前	北海道大学	2				兼 17 10	
	微積分学 II	1後	北海道大学	2				兼 16 8	
	物理学概論	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	
	物理学 I 基礎物理学 I	1前	北海道大学	2				兼 19 7	教育内容に鑑み、より適切な名称に変更した。(24)
教養科目	物理学 II 基礎物理学 II	1後	北海道大学	2				兼 16 5	教育内容に鑑み、より適切な名称に変更した。(24)
	物理学 I (上級) 物理学 I	1前	北海道大学	2				兼 5 2	教育内容に鑑み、より適切な名称に変更した。(24)
	物理学 II (上級) 物理学 II	1後	北海道大学	2				兼 5 1	教育内容に鑑み、より適切な名称に変更した。(24)
	基礎物理学	2前	帯広畜産大学	2				兼 1	
	応用物理学	2後	帯広畜産大学	2				兼 1	
	物理学実験	2前	帯広畜産大学	1				兼 1	
	化学概論	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	
	化学 I	1前	北海道大学	2				兼 23 6	
	化学 II	1後	北海道大学	2				兼 25 10	
	生物化学	2前	帯広畜産大学	2				兼 2	
	有機化学	1前 2前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容に鑑み、適切な開講時期へ調整した。(24)
	無機化学	1前 2前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容に鑑み、適切な開講時期へ調整した。(24)
	分析化学	2前	帯広畜産大学	2				兼 2	
	化学実験	1後	帯広畜産大学	1				兼 1	
	生物学概論	1後	帯広畜産大学	2				兼 2	
	生物学 I	1前	北海道大学	2				兼 22 4	
	生物学 II	1後	北海道大学	2				兼 22 7	
	生物学実験	1後~2前	帯広畜産大学	1	1	1		兼 6	
	地球科学概論	3前	帯広畜産大学	2				兼 1	
	地球惑星科学 I	1前	北海道大学	2				兼 12 4	
	地球惑星科学 II	1後	北海道大学	2				兼 6 5 2	
	地学実験	2前	帯広畜産大学	1				兼 1	
	農業気象学	2後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(25)
	基礎電気工学	2前	帯広畜産大学	2				兼 2	教育内容の充実を図るため、科目を追加(25)

一般教養科目

外国語科目

英語 I	1前	北海道大学	1					兼	23	
英語 II	1前	北海道大学	1					兼	3	
英語 III	1後	北海道大学	1					兼	1	
英語 IV	1後	北海道大学	1					兼	4	
ドイツ語 I	1前	北海道大学	2					兼	1	
ドイツ語 II	1後	北海道大学	2					兼	25	
フランス語 I	1前	北海道大学	2					兼	6	
フランス語 II	1後	北海道大学	2					兼	26	
ロシア語 I	1前	北海道大学	2					兼	5	
ロシア語 II	1後	北海道大学	2					兼	10	
スペイン語 I	1前	北海道大学	2					兼	3	
スペイン語 II	1後	北海道大学	2					兼	1	
中国語 I	1前	北海道大学	2					兼	4	
中国語 II	1後	北海道大学	2					兼	5	
韓国語 I	1前	北海道大学	2					兼	2	
韓国語 II	1後	北海道大学	2					兼	2	
英語演習	1-2-3-4前後	北海道大学	[2]					兼	1	
ドイツ語演習	1-2-3-4前後	北海道大学	[2]					兼	66	
フランス語演習	1-2-3-4前後	北海道大学	[2]					兼	17	
ロシア語演習	1-2-3-4前後	北海道大学	[2]					兼	11	
スペイン語演習	1-2-3-4前後	北海道大学	[2]					兼	2	
中国語演習	1-2-3-4前後	北海道大学	[2]					兼	7	
韓国語演習	1-2-3-4前後	北海道大学	[2]					兼	3	
外国語特別演習	1-2-3-4前後	北海道大学	[2]					兼	3	
English-Communication-I	1前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
English-Grammar-&-Composition-I	1前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
English-Reading-Skills	1前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
CALL-English-I	1前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
English-Communication-II	1後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
English-Grammar-&-Composition-II	1後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
English-Listening-Skills	1後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
CALL-English-II	1後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
Current-English-I	2前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
Current-English-II	2後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
Technical-Writing-I	3前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
FOEIC-Prep	3後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
Advanced-English-Topics	3後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
Technical-Writing-II	3後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
LL総合ドイツ語入門	1前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
LL総合ドイツ語初級	1後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
LL総合ドイツ語中級	2前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
LL実用ドイツ語	2後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
ドイツ語文法入門	1前	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
ドイツ語文法初級	1後	帯広畜産大学	1					兼	1	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)

外国語科目	ドイツ語文法中級	2前	帯広畜産大学	4				兼 4	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
	ドイツ語講読	2後	帯広畜産大学	4				兼 4	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
	スペイン語入門	1前	帯広畜産大学	4				兼 4	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
	実用スペイン語	1後	帯広畜産大学	4				兼 4	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)
	English I (Communication)	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English I (Grammar & Composition)	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English I (Reading Skills)	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English II (Communication)	1後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English II (Grammar & Composition)	1後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English II (Reading Skills)	1後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English III (CALL)	2前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English III (Current Topics)	2前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English III (Technical Writing)	2前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English IV (CALL)	2後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English IV (Current Topics)	2後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English IV (Technical Writing)	2後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English V (Advanced Topics)	3後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	English V (Communication)	3後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	ドイツ語会話Ⅰ	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	ドイツ語会話Ⅱ	1後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	ドイツ語会話Ⅲ	2前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	ドイツ語会話Ⅳ	2後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	ドイツ語文法Ⅰ	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	ドイツ語文法Ⅱ	1後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	スペイン語Ⅰ	1前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	スペイン語Ⅱ	1後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
スペイン語Ⅲ	2前	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)	
中南米の言語と文化	1後	帯広畜産大学	2				兼 1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(25)	
一般教養科目									

共通科目	体育学A	1・2前後	北海道大学							兼	11 2	
				[1]								
	体育学B	1・2前後	北海道大学	2						兼	2 1	
	情報学 I	1前	北海道大学	2						兼	15 2	
	情報学 II	1後	北海道大学	2						兼	4 2	
	インターンシップA	1・2・3・4前	北海道大学	2						兼	1	
	インターンシップB	1・2・3・4前	北海道大学	1						兼	1	
	統計学	1前後	北海道大学	2						兼	12 3	
	体育実技 I	1前	帯広畜産大学	1						兼	2	
	体育実技 II	1後	帯広畜産大学	1						兼	2	
	健康・スポーツサイエンス	1後	帯広畜産大学	1						兼	3	
	政治学	2後	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	インターンシップ	2・3・4・5通	帯広畜産大学	1						兼	1	
	情報科学概論	1前	帯広畜産大学	2						兼	1	
	情報処理基礎演習	1後	帯広畜産大学	1						兼	1	
	情報処理演習 I	2前	帯広畜産大学	1						兼	1	
	情報処理演習 II	2後	帯広畜産大学	1						兼	1	
	情報処理演習 III	2前	帯広畜産大学	1						兼	1	
	情報処理演習 IV	2前	帯広畜産大学	1						兼	1	
	統計学	1後 2前	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容に鑑み、適切な開講時期へ調整した。(24)
	国際ボランティア論	1後	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	海外実習	3前	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	国際協カディベート論	3前	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	海外フィールドワーク	3前～	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	国際開発フィールドワーク	4前後	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	Advanced seminar	4後	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
	国際開発経済学	3前	帯広畜産大学	2						兼	1	教育内容の充実を図るため、科目を追加(26)
札幌基礎獣医学演習	2前	北海道大学	2			1						
帯広基礎獣医学演習	1前	帯広畜産大学	2			1						
獣医学概論	2前	北海道大学	2			1						
農畜産演習	1前	帯広畜産大学	2							兼	10	
解剖学	2前	帯広畜産大学	4			3 2	-	1			准教授から教授へ1名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(26) 担当:近藤大輔助教	
組織学実習	2後	北海道大学	2			2 3 2	+	2			重複掲載していたため削除(26) 教授1名退職のため減(25) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	
解剖学実習	2前	帯広畜産大学	2			3 2	+	3 2			准教授から教授へ1名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(26) 担当:近藤大輔助教	
組織学	2後	北海道大学	3			3 2	2 +	2			教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(26) 担当:近藤大輔(助教) 助教から准教授へ1名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	
組織学実習	2後	北海道大学	2			3 2	2 +	2			教育内容の充実を図るため、担当教員を追加・変更(26) 担当:近藤大輔(助教) 助教から准教授へ1名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	
発生学	2後	北海道大学	1			1	1	1 2			助教から准教授へ1名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	
神経生理学・環境生理学	2前	北海道大学	1			1		1				
細胞生理学・腎臓生理学	2前	帯広畜産大学	1			1						
循環生理学・呼吸生理学・消化生理学・内分泌生理学	2前	北海道大学	2			2		0 4	1		教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	

専 門 科 目	獣 医 学 コ ア リ キ ュ ラ ム	生理学実習	2後	北海道大学	2			2		1	2 +	兼 1	教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(26) 担当 ムスタファ・アミラ(特任助教)	
		代謝生化学	2前	北海道大学	2			1						教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(25) 担当 山口聡一郎(特任助教)
		分子遺伝情報科学	2後	帯広畜産大学	2			1	1					教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(25) 担当 山口聡一郎(特任助教)
		生化学実習	2前	北海道大学	1				2				1	教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(26) 助教から准教授へ1名昇任(25)
		基礎薬理学	2後	北海道大学	2			1	1				1	教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(26) 担当 森松正美(准教授)
		機能制御薬理学	3前	帯広畜産大学	2			1					1	担当教員の異動のため、担当教員を変更(25) 講師から准教授へ1名昇任(25)
		薬理学実習	3前	北海道大学	1			1	1				2 +	講師から准教授へ1名昇任とともに、教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)
		獣医遺伝学	2後	北海道大学	1			1						准教授1名退職のため担当教員を追加・変更(26) 担当 木村享史(教授)
		家畜育種学	3前	帯広畜産大学	2									教授1名退職のため担当教員を変更(25) 准教授から教授へ1名昇任(24)
		動物行動学	3後	北海道大学	1			1	2 +		1		0 +	准教授1名退職のため担当教員を追加・変更(26) 担当 木村享史(教授)
		実験動物繁殖学	2後	帯広畜産大学	1			1	1				0 +	教授1名退職のため、担当教員を変更(25)
		実験動物疾病学	3前	北海道大学	1			1						准教授から教授へ1名昇任(24)
		実験動物学実習	3前	北海道大学	1			2 +	2 +		0 +		1	准教授1名退職のため担当教員を追加・変更(26) 担当 木村享史(教授)
		病理学総論	3前	北海道大学	2			3 2 3 +	0 +	0 +				教授1名退職のため、担当教員を変更(25)
		循環器・呼吸器病理学	3後	帯広畜産大学	1			1						准教授から教授へ1名昇任(24)
		消化器病理学	3後	帯広畜産大学	1			1	0 +					准教授1名退職のため担当教員を追加・変更(26) 担当 木村享史(教授)
		泌尿器病理学	3後	北海道大学	1			1 0 +	0 +					教授1名退職のため、担当教員を変更(25)
		神経・運動器病理学	3後	北海道大学	1			1 0 +	0 +					准教授1名退職のため担当教員を追加・変更(26) 担当 木村享史(教授)
		病理学総論実習	3後	北海道大学	1			2 +	0 +	2			1 2 +	教授1名退職のため、担当教員を変更(25)
		病理学各論実習	4前	帯広畜産大学	1			1	1				1	准教授1名、助教1名退職のため担当教員を追加・変更(26) 担当 木村享史(教授)
		基礎免疫学	2後	北海道大学	1			1						教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(25) 担当 堀内雅之(助教)
		臨床応用免疫学	3後	帯広畜産大学	1			2	0 +					准教授から教授へ2名昇任(26)
		微生物学総論	2後	北海道大学	1			1 2 +	0 +					教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(25) 担当 迫田義博(准教授)
		ウイルス学	3前	北海道大学	1			1	0 +				0 +	教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(26) 准教授から教授へ1名昇任(26)
		細菌学	3前	帯広畜産大学	1			1					1	教育内容の見直しのため、担当教員を変更(25) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)
		微生物学実習	3前	帯広畜産大学	2			4 2	1 3				3 2	准教授から教授へ2名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(26) 担当:楠本晃子助教
		伝染病学総論	3前 3後	帯広畜産大学	1			4 2	2					准教授から教授へ2名昇任(26) 教育内容に鑑み、適切な開講時期へ調整した。(24)
伝染病学各論(産業動物)	3前	帯広畜産大学	1			2 +	+				准教授から教授へ1名昇任(26)			
伝染病学各論(伴侶動物)	3後	北海道大学	1			1								

専 門 科 目	獣 医 学 コ ア リ キ ュ ラ ム	伝染病学実習	3後	帯広畜産大学	1	4 2	3 5 4	0 +	3 2	准教授から教授へ2名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担 当教員を追加(26) 担当:楠本晃子助教 講師から准教授へ1名昇任(24)
		寄生虫・寄生虫病学	3前	北海道大学	2	1	1		0 +	助教1名退職のため担当教員を 変更(26) 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(24)
		原虫病学・寄生虫病学実習	3前	帯広畜産大学	1	5 3	2 +	3	2 +	教育内容の充実を図るため、担 当教員を追加(26) 担当:加藤健太郎特任准教授、 白藤梨可助教 准教授から教授へ2名昇任(24)
		家禽疾病学	3後	帯広畜産大学	1	2 +	+			准教授から教授へ1名昇任(26)
		原虫病学	3前	帯広畜産大学	2	1	2 +	2	1	教育内容の充実を図るため、担 当教員を追加(26) 担当:加藤健太郎特任准教授、 白藤梨可助教 准教授から教授へ1名昇任(24)
		魚病学	3後	帯広畜産大学	1	2 +	+		1	准教授から教授へ1名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担 当教員を追加(26) 担当:楠本晃子助教
		野生動物学	3後	北海道大学	2	1	0 +			兼 1 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(26) 教育内容の見直しのため、担当 教員を変更(25) 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(24)
		基礎毒性学・環境毒性学	4前	北海道大学	1	1	1	1	1	教育内容の充実を図るため、担 当教員を追加(25) 担当 中山翔太(特任助教)
		応用毒性学	4前	帯広畜産大学	1	1	0 +			教授1名異動減、准教授から教 授へ1名昇任(24)
		毒性学実習	4前	帯広畜産大学	1	2	0 +	1		教授1名異動減、准教授から教 授へ1名昇任(24)
		獣医公衆衛生学	4前	帯広畜産大学	1	0 3	1		1	教育内容の見直しのため、担当 教員を変更(25)
		獣医公衆衛生学実習	4前	帯広畜産大学	1	0 +	2 +		2	教育内容の見直しのため、担当 教員を変更(25)
		食品衛生学	4前	北海道大学	2	1 2	1		1	教育内容の見直しのため、担当 教員を変更(25)
		食品衛生学演習	5通	帯広畜産大学	1	2	4 2		2	兼 2 教育内容の見直しのため、担当 教員を変更(25)
		食品衛生学実習	4前	北海道大学	1	1 2	1	1	1	教育内容の見直しのため、担当 教員を変更(25)
		基礎動物衛生学	3後	北海道大学	1	2 +	1 2	0 +		兼 1 准教授から教授へ1名昇任(26) 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(24)
		応用動物衛生学	3後	帯広畜産大学	1		1			
		動物衛生学実習	3後	北海道大学	1	3 +	2 7 +	1 2 +	3 2	兼 1 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(26) 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(25) 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(24)
		環境衛生学	4前	北海道大学	1	1	1	1		教育内容の充実を図るため、担 当教員を追加(25) 担当 池中良徳(講師)
		人獣共通感染症学	4前	北海道大学	2	6 +	0 +			兼 1 兼 1 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(26) 教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(24)
		獣医疫学	4後	帯広畜産大学	2					
		獣医疫学演習	4後	帯広畜産大学	1	1	1		1	
		臨床診断学	3後	北海道大学	1	3			1	
		臨床診断学実習	3後	帯広畜産大学	1	3	3	1	2 3	助教から講師へ1名昇任(24)
		臨床薬理学	5前	北海道大学	1	1	1		1	教育内容の充実を図るため、担 当教員を追加(25) 担当 山口聡一郎(特任助教)
		臨床腫瘍学	4後	北海道大学	1	2	1		3 2	教育内容の充実を図るため、担 当教員を変更した。(24)
		放射線生物学	2後	北海道大学	1	1	1		1	
		放射線生物学演習	2後	北海道大学	1	2	1		1	
		放射線獣医療・画像診断学	4後	帯広畜産大学	2	4	1		1	
		放射線獣医療・画像診断学実習	4後	帯広畜産大学	1	4	2		3	
内科学総論	3後	帯広畜産大学	1	2		1	0 +	助教から講師へ1名昇任(24)		
内科学各論	4通	北海道大学	3	4	1 2	1	2 3	兼 1 准教授1名退職のため減(26) 助教から講師へ1名昇任(24)		

	応用内科学	4後	北海道大学	1		2	1 2					准教授1名退職のため減(26)	
	産業動物内科学	4後	北海道大学	1		2 +	0 +	1	0 +			教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(25) 担当 稲葉陸(教授) 助教から講師へ1名昇任。教員の異動に伴う変更。(24)	
	内科学実習	4後	北海道大学	1		1	2 3	1	4 +	3		教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(25) 担当 太田寛(助教)、中村健介(助教)、森下啓太郎(助教) 助教から講師へ1名昇任とともに、教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	
	外科学総論	4前	北海道大学	2		2	2		3 2			教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	
	軟部組織外科学	4通	帯広畜産大学	2		2	2		2				
	整形外科学	4後	北海道大学	2		2	2		3 2			教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	
	応用外科学	5前	帯広畜産大学	1		2	2		2				
	伴侶動物外科学実習	4後	帯広畜産大学	2		2	2		2				
	産業動物外科学実習	5前	帯広畜産大学	1		2	2		2				
専 門 科 目	獣 医 学 コ ア リ キ ュ ラ ム	生産獣医療学実習	4通	帯広畜産大学	2		3	5		2	兼 1	教授1名退職のため、担当教員を変更(25) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)	
		繁殖生理学総論	4後	北海道大学	1		0 +	1		1 0 +			教授1名退職のため減(25)
		繁殖生理学各論	4後	帯広畜産大学	1			1		1			
		繁殖病態学	5前	北海道大学	1		0 +	1		1			教授1名退職のため減(25)
		臨床繁殖学	5前	帯広畜産大学	1			1		1			
		繁殖学実習	5前	北海道大学	1		0 +	2		2 +			教授1名退職のため減(25) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更(25) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)
		伴侶動物獣医療実習	5通	北海道大学	2		6 5	3 4	1	7 5			
		産業動物獣医療実習	5通	帯広畜産大学	2		5	4		4		兼 2	
		家畜管理学	4後	帯広畜産大学	2							兼 2	
		食品栄養学	4前	帯広畜産大学	1							兼 1	
	草地飼料学	4前	帯広畜産大学	2							兼 1		
	獣医法規	5前	北海道大学	1		1							
	獣医倫理	5前	北海道大学	1		1							
	動物福祉学	5前	北海道大学	1		1							
	生物統計学演習	2後	帯広畜産大学	1		0 +			1			教員の異動に伴う変更。(24)	
	コミュニケーション論演習	5前	帯広畜産大学	1		2							
	選 択 科 目	野生動物学演習	4前	北海道大学	1		1	1		0 +		兼 1	助教から准教授へ昇任(25) 教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)
		動物園学	3後	北海道大学	1		1					兼 1	
		生物科学基礎演習	2前~4後期	北海道大学	2		1					兼 1	教育内容の充実を図るため、開講時期を変更した。(24)
		水産学概論	3前	北海道大学	1								
実験動物医学演習		6前	北海道大学	1		1	1					教育効果を考え、アドバンス演習の1つとして開講することとした。(24)	
短期現地実習		6後	北海道大学	1		1							
長期現地実習		6後	北海道大学	2		1							
家畜栄養学		4後	帯広畜産大学	2							兼 2		
医科生理学		2後	帯広畜産大学	2							兼 1		
馬学総論		2後	帯広畜産大学	2							兼 2		
環境微生物学		2後	帯広畜産大学	2							兼 1		
分子生物学		2後	帯広畜産大学	2							兼 1		
農畜産関係法		3前	帯広畜産大学	2							兼 1		
国際農業開発協力論		2前	帯広畜産大学	2							兼 8		
国際比較畜産論		2後	帯広畜産大学	2							兼 10		
循環型畜産科学		2前	帯広畜産大学	2							兼 1		
サステイナブル農畜産科学		2後	帯広畜産大学	2							兼 9	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)	
環境昆虫学		2後	帯広畜産大学	2							兼 1		
畜産環境リスク管理学	4前	帯広畜産大学	2							兼 3	教育内容見直しのため、科目を廃止(26)		

アドバンス ト科目	課題研究	5後～6前後	北海道大学・帯広畜産大学	6			36 33	22 26	4	25 22			教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)
	研究・臨床セミナー	5・6通	北海道大学・帯広畜産大学	4			36 33	22 26	4	25 22			教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)
	アドバンスト演習	5後～6前	北海道大学・帯広畜産大学	[2]			36 33	22 26	4	25 22			教育内容の充実を図るため、担当教員を変更した。(24)

- (注) ・ 設置計画書様式第2号(その2の2)又は「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

大学名	届出時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
北海道大学	科目 54	科目 68	科目	科目 122	科目 54 []	科目 68 []	科目 []	科目 122 []	
帯広畜産大学	科目 50	科目 96	科目	科目 146	科目 50 [0]	科目 103 [7]	科目 []	科目 153 [7]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
北海道大学	1	該当なし					
	2						
	3						
帯広畜産大学	1	ドイツ語文法中級	1	2前	一般	選択	担当者の退職のため未開講としているが、他に複数のドイツ語科目があり、その授業の中で内容的に包括されている。(25)
	2	ドイツ語講読	1	2後	一般	選択	担当者の退職のため未開講としているが、他に複数のドイツ語科目があり、その授業の中で内容的に包括されている。(25)
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
北海道大学	1	実験動物医学演習	1	5前	専門	選択	教育効果を考え、アドバンスト演習の1つとして開講することとした(24)
	2						
	3						
帯広畜産大学	1	生命と倫理	1	1	一般	選択	畜産科学課程の平成26年度入学者カリキュラム改正に伴い、共同獣医学課程においても、平成26年度入学者から関連する授業科目の廃止を行う。代替措置として廃止科目の授業内容を見直し、必要な科目を新設している。(26)
	2	基礎キャリア教育	1	2	一般	選択	
	3	生命と環境	2	1	一般	選択	
	4	食品科学概論	2	1	一般	選択	
	5	English Communication I	1	1	一般	選択	
	6	English Grammar & Composition I	1	1	一般	選択	
	7	English Reading Skills	1	1	一般	選択	
	8	CALL English I	1	1	一般	選択	
	9	English Communication II	1	1	一般	選択	
	10	English Grammar & Composition II	1	1	一般	選択	
	11	English Listening Skills	1	1	一般	選択	
	12	CALL English II	1	1	一般	選択	
	13	Current English I	1	2	一般	選択	
	14	Current English II	1	2	一般	選択	
	15	Technical Writing I	1	3	一般	選択	
	16	TOEIC Prep	1	3	一般	選択	
	17	Advanced English Topics	1	3	一般	選択	
	18	Technical Writing II	1	3	一般	選択	
	19	LL総合ドイツ語入門	1	1	一般	選択	
	20	LL総合ドイツ語初級	1	1	一般	選択	
	21	LL総合ドイツ語中級	1	2	一般	選択	
	22	LL実用ドイツ語	1	2	一般	選択	
	23	ドイツ語文法入門	1	1	一般	選択	
	24	ドイツ語文法初級	1	1	一般	選択	
	25	ドイツ語文法中級	1	2	一般	選択	
	26	ドイツ語講読	1	2	一般	選択	
	27	スペイン語入門	1	1~6	一般	選択	
	28	実用スペイン語	1	1~6	一般	選択	
	29	生命と環境	2	1	一般	選択	
	30	食品科学概論	2	1	一般	選択	
	31	サステイナブル農畜産科学	2	2	専門	選択	
	32	畜産環境リスク管理学	2	4	専門	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

北海道大学：「実験動物医学演習」を内容から選択科目からアドバンスト演習の1科目として開講することにしたので、実際は科目の減少はなく、かつ教育内容の充実を図っているので問題はない。学生に配布する学生便覧では既に対応済み(24)

帯広畜産大学：ドイツ語2科目について、担当教員退職のため当分の間未開講としているが、他に「LL総合ドイツ語入門」「LL総合ドイツ語初級」「LL総合ドイツ語中級」「LL実用ドイツ語」「ドイツ語文法入門」「ドイツ語文法初級」等複数のドイツ語科目があり、それらの科目に内容的に包括されているため問題はない。また、学生への周知方法は、シラバスに記載して周知している(25)

畜産科学課程の平成26年度入学者カリキュラム改正に伴い、共同獣医学課程においても授業科目の新設、廃止を行った。共同獣医学課程の平成26年度入学生へは、「履修の手引き」を配布し、新しい教育カリキュラムを周知している。(26)

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(北海道大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(帯広畜産大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.21}$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

(北海道大学)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成26年4月 専任教授1名を新規 採用のため(26)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
		m ²						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設 備 購 入 費	千円	千円	千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要								

(帯広畜産大学)

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分, 〇km)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	〇〇学部 〇〇学科			室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	種	[うち外国書]				点
〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部			3年次		学士	1.02	昭和25年度	札幌市北区北10条西7丁目	
人文科学科	4	185	10	760	(文学)		平成7年度		
教育学部			3年次		学士	1.07	昭和24年度	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50	10	220	(教育学)		昭和24年度		
法学部			2,3年次		学士	1.01	昭和28年度	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	各10	850	(法学)		昭和49年度		
経済学部					学士	1.02	昭和28年度	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	(経済学)		昭和28年度		
経営学科		90		360	(経営学)		昭和41年度		
理学部					学士		昭和24年度	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	(理学)	1.03	平成7年度		
物理学科		35		140		1.00	平成6年度		
化学科		75		300		1.02	平成7年度		
生物科学科		80		320		1.04	平成5年度		
地球惑星科学科		60		240		1.05	平成6年度		
医学部			2年次		学士		昭和24年度	札幌市北区北15条西7丁目	
医学科	6	107	5	660	(医学)	1.00	昭和24年度		
保健学科	4	180	3年次	760	(看護学)	1.06	平成16年度		
			20		(保健学)				
歯学部					学士	1.00	昭和42年度	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		332	(歯学)		昭和42年度		
薬学部					学士	1.07	昭和40年度	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	(薬科学)		平成18年度		
薬学科	6	30		180	(薬学)		平成18年度		
工学部					学士		昭和24年度	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160	3 年 次 10	640	(工学)	1.09	平成17年度		
情報エレクトロニクス学科		180		720		1.03	平成17年度		
機械知能工学科		120		480		1.06	平成17年度		
環境社会工学科		210		840		1.03	平成17年度		
農学部						学士	1.02	昭和24年度	札幌市北区北9条西9丁目
生物資源科学科	4	36		144	(農学)		平成4年度		
応用生命科学科		30		120			平成4年度		
生物機能化学科		35		140			平成4年度		

森林科学科		36	144		平成4年度	
畜産科学科		23	92		平成4年度	
生物環境工学科		30	120		昭和24年度	
農業経済学科		25	100		昭和24年度	
獣医学部				学士	1.03	昭和27年度 札幌市北区北18条西9丁目
共同獣医学課程	6	40	240	(獣医学)		
水産学部				学士	1.02	昭和24年度 函館市港町3丁目1番1号
海洋生物科学科	4	54	216	(水産学)		
海洋資源科学科		53	212		平成18年度	
増殖生命科学科		54	216		平成18年度	
資源機能化学科		54	216		平成18年度	
文学研究科				修士／博士		昭和28年度 札幌市北区北10条西7丁目
思想文化学 (MC)	2	14	28	(文学)／(学術)	0.96	平成12年度
(DC)	3	6	18		0.38	
歴史地域文化学 (MC)	2	28	56		0.90	平成12年度
(DC)	3	11	33		0.54	
言語文学 (MC)	2	29	58		0.93	平成12年度
(DC)	3	11	33		1.33	
人間システム科学 (MC)	2	19	38		1.75	平成12年度
(DC)	3	7	21		0.88	
法学研究科				修士／博士		昭和28年度 札幌市北区北9条西7丁目
法学政治学 (MC)	2	20	40	(法学)	0.57	平成12年度
(DC)	3	15	45		0.51	
法律実務 (P)	3	80	240	(専門職)	0.73	平成16年度
経済学研究科				修士／博士		昭和28年度 札幌市北区北9条西7丁目
現代経済経営 (MC)	2	30	60	(経済学)／(経営学)	1.03	平成12年度
(DC)	3	15	45		0.44	
会計情報 (P)	2	20	40	(専門職)	1.03	平成17年度
医学研究科				修士／博士		昭和30年度 札幌市北区北15条西7丁目
医学 (DC)	4	100	400	(医学)	0.69	平成19年度
医科学 (MC)	2	30	60	(医科学)	0.81	平成14年度
歯学研究科				博士		昭和49年度 札幌市北区北13条西7丁目
口腔医学 (DC)	4	42	168	(歯学)	0.83	平成12年度
獣医学研究科				博士		昭和28年度 札幌市北区北18条西9丁目
獣医学 (DC)	4	24	96	(獣医学)	0.68	平成7年度
情報科学研究科				修士／博士		平成16年度 札幌市北区北14条西9丁目
複合情報学 (MC)	2	—	—	(情報科学)／(工学)		平成16年度 平成26年度より学生募集停止(26)
(DC)	3	—	—			平成26年度より学生募集停止(26)
コンピュータサイエンス (MC)	2	—	—			平成16年度 平成26年度より学生募集停止(26)
(DC)	3	—	—			平成26年度より学生募集停止(26)
情報理工学 (MC)	2	48	96		1.08	平成26年度
(DC)	3	12	36		0.56	
情報エレクトロニクス (MC)	2	39	78		1.00	平成26年度
(DC)	3	8	24		1.08	
生命人間情報科学 (MC)	2	33	66		0.85	平成16年度
(DC)	3	6	18		0.71	
メディアネットワーク (MC)	2	30	60		0.99	平成16年度
(DC)	3	8	24		0.87	
システム情報科学 (MC)	2	27	54		1.25	平成16年度
(DC)	3	8	24		0.91	
水産科学院				修士／博士		平成17年度 函館市港町3丁目1番1号
海洋生物資源科学 (MC)	2	43	86	(水産科学)	0.88	平成17年度
(DC)	3	17	51		0.52	
海洋応用生命科学 (MC)	2	47	94		1.37	平成17年度
(DC)	3	18	54		0.31	
環境科学院				修士／博士		平成17年度 札幌市北区北10条西5丁目
環境起学 (MC)	2	44	88	(環境科学)	0.51	平成17年度
(DC)	3	15	45		0.37	

地球圏科学 (MC)	2	35	70		0.62	平成17年度	
(DC)	3	14	42		0.44		
生物圏科学 (MC)	2	52	104		0.81	平成17年度	
(DC)	3	23	69		0.59		
環境物質科学 (MC)	2	28	56		1.22	平成17年度	
(DC)	3	11	33		0.48		
理学院				修士／博士		平成18年度	札幌市北区北10条西8丁目
数学 (MC)	2	46	92	(理学)	0.96	平成18年度	
(DC)	3	17	51		0.35		
物性物理学 (MC)	2	24	48		1.08	平成18年度	
(DC)	3	10	30		0.26		
宇宙理学 (MC)	2	20	40		0.95	平成18年度	
(DC)	3	9	27		0.81		
自然史科学 (MC)	2	39	78		1.08	平成18年度	
(DC)	3	20	60		0.71		
農学院				修士／博士		平成18年度	札幌市北区北9条西9丁目
共生基盤学 (MC)	2	48	96	(農学)	0.60	平成18年度	
(DC)	3	16	48		0.51		
生物資源科学 (MC)	2	42	84		1.19	平成18年度	
(DC)	3	14	42		0.49		
応用生物科学 (MC)	2	18	36		1.60	平成18年度	
(DC)	3	6	18		0.27		
環境資源学 (MC)	2	42	84		1.18	平成18年度	
(DC)	3	14	42		0.47		
生命科学学院				修士／博士		平成18年度	札幌市北区北10条西8丁目
生命科学 (MC)	2	132	264	(生命科学)／(農科学)	0.87	平成18年度	
(DC)	3	46	138		0.54		
臨床薬学 (DC)	3	4	12	(臨床薬学)	1.00	平成24年度	
教育学院				修士／博士		平成19年度	札幌市北区北11条西7丁目
教育学 (MC)	2	45	90	(教育学)	1.04	平成19年度	
(DC)	3	21	63		0.58		
国際広報庁 17・観光学院				修士／博士		平成19年度	札幌市北区北17条西8丁目
国際広報庁 17 (MC)	2	27	54	国際広報庁 17 (理学)／(農学)	1.12	平成19年度	
(DC)	3	14	42		0.54		
観光創造 (MC)	2	15	30		1.16	平成19年度	
(DC)	3	3	9		1.11		
保健科学院				修士／博士		平成20年度	札幌市北区北12条西5丁目
保健科学 (MC)	2	26	52	(保健科学)／(看護学)	1.61	平成20年度	
(DC)	3	8	24		1.45	(平成22年度)	
工学院				修士／博士		平成22年度	札幌市北区北13条西8丁目
応用物理学 (MC)	2	34	68	(工学)	0.92	平成22年度	
(DC)	3	9	27		0.47		
材料科学 (MC)	2	39	78		0.93	平成22年度	
(DC)	3	7	21		0.71		
機械宇宙工学 (MC)	2	27	54		1.03	平成22年度	
(DC)	3	5	15		0.53		
人間機械システムデザイン (MC)	2	26	52		1.11	平成22年度	
(DC)	3	5	15		0.80		
エレクトロニクス環境システム (MC)	2	26	52		1.09	平成22年度	
(DC)	3	5	15		0.26		
量子理工学 (MC)	2	20	40		1.17	平成22年度	
(DC)	3	5	15		0.86		
環境フィールド工学 (MC)	2	24	48		0.93	平成22年度	
(DC)	3	6	18		0.11		
北方圏環境政策工学 (MC)	2	26	52		0.99	平成22年度	
(DC)	3	7	21		0.52		
建設都市空間デザイン (MC)	2	23	46		1.10	平成22年度	
(DC)	3	5	15		0.13		

空間性能システム (MC)	2	28		56		0.74	平成22年度		
(DC)	3	5		15		0.33			
環境創生工学 (MC)	2	28		56		1.10	平成22年度		
(DC)	3	5		15		0.40			
環境循環システム (MC)	2	25		50		1.06	平成22年度		
(DC)	3	5		15		0.26			
総合化学院					修士／博士		平成22年度	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学 (MC)	2	129		258		1.17	平成22年度		
(DC)	3	38		114		0.76			
公共政策学教育部					公共政策学修士		平成17年度	札幌市北区北9条西7丁目	
公共政策学部門 (P)	2	30		60	(専門職)	1.04	平成17年度		
大学の名称	帯広畜産大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
畜産学部					学士				
共同獣医学課程	6	40	3年次	240	(獣医学)	1.02	平成24年度	帯広市稲田町西2線11番地	
			10		学士				
畜産科学課程	4	210		840	(農学)	1.02	平成20年度	帯広市稲田町西2線11番地	
畜産学研究科修士課程					修士				
畜産生命科学専攻	2	18		36	(農学)	1.08	平成22年度	帯広市稲田町西2線11番地	
食品科学専攻	2	10		20		1.50	平成22年度	帯広市稲田町西2線11番地	
資源環境農学専攻	2	13		26		0.80	平成22年度	帯広市稲田町西2線11番地	
畜産学研究科博士課程					修士／博士				
畜産衛生学専攻 (博士前期課程)	2	15		30	(畜産衛生学)	0.66	平成16年度	帯広市稲田町西2線11番地	
畜産衛生学専攻 (博士後期課程)	3	7		21		1.09	平成18年度	帯広市稲田町西2線11番地	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「一」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇研究科 〇〇専攻>

(1) 担当教員表

(〇〇大学)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成24年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆ (〇〇)	平成25年4月	国際経済学	平成25年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成25年度より担当者の 変更(25)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成25年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成25年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成24年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (24)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成25年10月	金 融 論			後任未定			平成25年10月 □□□□准教授就任辞退(26) 「後任未定」平成26年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成26年4月	〇〇〇〇論	平成26年4月から 教育課程の充実を図るた め、科目を追加(26)

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

(注) ・設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科に所属しない教員であって、全学共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、
<〇〇研究科 〇〇専攻>を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

	設置時の計画					変更状況					年齢構成	
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
北海道大学	18 (18)	14 (14)	3 (3)	14 (14)	49 (49)	17 [Δ1]	14 [0]	2 [Δ1]	20 [6]	53 [4]	63 歳	1 名
帯広畜産大学	15 (18)	12 (9)	1 (1)	8 (8)	36 (36)	24 [9]	8 [Δ4]	3 [2]	12 [4]	47 [11]	63 歳	1 名

	設置時の計画			変更状況			年齢構成	
	研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
〇〇大学	()	()	()	[]	[]	[]	歳	名
△△大学	()	()	()	[]	[]	[]	歳	名

- (注) ・ 様式は、学部・学科の場合は上段、研究科の場合は下段を使用してください。
- ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 - ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

	番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
〇〇大学	1			
	2			
	3			
△△大学	1			
	2			
	3			

- (注) ・ 専任教員辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

〇〇大学： △△大学：

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<△△研究科 △△専攻>

(1) 設置計画変更事項等

(〇〇大学)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対照表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・ 「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

・ 構成大学毎に記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目に記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

(〇〇大学)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付してください。

・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載してください。(記入例参照)

・ 構成大学毎に記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目に記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

(〇〇大学)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成26年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成26年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成26年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(△△大学)

…… [上記の様式と同様にして記載。]

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 構成大学毎に記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

(北海道大学)

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表予定時期

(平成26年 6月 日)

(帯広畜産大学)

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表予定時期

(平成25年 6月 3日)